

水災を想定した防災訓練

令和元年10月6日（日）に直川地区において、数日の長雨の後、大雨特別警報が発表されたという想定で防災訓練が行われました。

訓練は、自宅から一時避難場所へ避難し、その後避難所である直川小学校へ避難する避難訓練から始まり、避難所の直川小学校では消火訓練、起震車による地震体験訓練、煙体験訓練、救命救急訓練、炊き出し試食などのコーナーが設けられ、地震の揺れや火災の煙の怖さを体験したり、負傷者に対する応急手当を学ぶなど実践的な訓練が行われました。



また、防災会で地区内の危険個所の調査（地すべり・岩盤のゆるみ）を行い、災害の予測図を作成しました。この予測図は訓練時に展示し、地区住民に啓発を行っていました。

